

おしえてドクター

No.73
【漢方薬】のおはなし

はるか昔、私たちの祖先は病気がケガをした時、どうしていたのでしょうか。病院もなく、本も薬もなかった時代、それを自然な流れと受け止めて神仏に祈るしかなかった時代がありました。今の日本の漢方は、そのような時代に中国からその基礎が伝わり、1000年以上の時間をかけて日本の中で日本人に合うように磨かれ受け継がれてきました。

漢方医をしていると、その驚くべき効果と奥深さに驚かされることが多いです。この時期に訴えの多い冷えや浮腫み、女性の生理不順や更年期障害など、私たちの祖先も辛い思いをしたときに用いていた漢方薬は、現在の私たちにも同じように大きな恩恵をもたらしています。

頭痛や足のつり、抗がん剤の有害事象に対しても漢方薬はよく用いられています。そのメカニズムも最近になってようやく科学的に解明されました。しかし、漢方薬は全ての患者さんに効くわけではありません。

今月のドクター

木瀬 英明 医師



元 総合医療センター泌尿器科、現 きせ腎泌尿器科・かんぼうクリニック

漢方薬は「個」に対する薬であって、今の薬のように「不特定多数」に対する薬ではないため、個々の患者さんに対する東洋医学的診断が非常に重要であり、それに基づき漢方薬を選びます。したがって、まったく同じ症状でも選ぶ漢方薬は変わってきます。最近では、漢方薬に食事療法を併用し、肥満症や高血圧、高脂血症が改善し、喜ばれた患者さんに多数出会ってきました。メタボ気味であった私自身も漢方を学びながら、日々の食生活を見直し、「普通に戻る、普通でいる」ことの素晴らしさを体験しました。

全てが便利になり、いつでもおいしいものが気軽に手に入る一方で、その副作用に悩まされている現在の私たち、「普通に戻りたい」と思われる人は、ぜひ一度ご相談下さい。

お問い合わせは
総合医療センター
TEL 22-1211 FAX 22-9498

子育て世帯を支援するため臨時特別給付金を支給しています

新型コロナウイルス感染症の影響などを踏まえ、子育て世帯を支援するため臨時特別給付金を支給しています。子育て世帯への臨時特別給付金の対象で申請していない人は、下記の申請期限までに手続きをしてください。

- 対象児童** 平成15年4月2日から令和4年3月31日までに生まれた児童
▷児童手当の所得制限限度額以上の人は対象外
- 申請対象者** 高校生相当(平成15年4月2日から平成18年4月1日生まれ)のみの児童を養育する保護者、令和3年9月30日時点で市内に在住していた公務員など
- 申請方法** 市ホームページから申請書をダウンロードし、必要事項を記入の上、子育て世帯への臨時特別給付金チーム(〒511-8601 中央町2-37)へ郵送してください。
- 申請期限** 3月31日(木)消印有効 **給付額** 対象児童1人につき10万円
- 支給方法** 申請書を受付・審査後、指定の口座に振り込みます。
- 問** 子育て世帯への臨時特別給付金チーム (☎ 24-5403 FAX 24-1393)

里親説明会

さまざまな事情で家族と暮らすことができない子どもたちがいます。里親はそんな子どもたちを新しい家族として家庭に迎え入れて、愛情をもって育ててくださっている人のことです。里親制度を広く知っていただくため、説明会を開催します。

- とき** 2月22日(火) 午前10時～正午 **場所** パブリックセンター
- 内容** 里親制度についての説明会 **定員** 20人 **料金** 無料
- 申込** 電話、ファクス、メール、郵送、申し込みフォームのいずれかで「名前・住所・電話番号・メールアドレス」を記入の上、乳児院・児童養護施設エスペランス四日市(〒510-0894 四日市市泊村954 ☎ 059-346-1371 FAX 059-347-1227 Mail eeyan-satooya@apatheia.jp)へ。 **期限** 2月15日(火)
- 問** 子ども総合センター (☎ 24-1298 FAX 24-5497)



申し込みフォーム

市プレイルーム(託児室)をご利用ください

「日ごろの育児の気分転換に図書館でゆっくり読書したい」「公共施設に行くのにちょっと子どもを預かってほしい」そんな時、くわなメディアライヴ1階にある市プレイルーム(託児室)をご利用ください。

- 対象児童** おおむね生後6カ月の乳児～就学前の幼児 ▷ただし、病気のお子さんはお受けできません。また、お預かりのお子さん的人数によってはお断りする場合がありますのでご了承ください。
- とき** 毎日 午前9時～午後4時(12月28日～1月3日の年末年始は休み)
- 料金** ・市内在住者は1時間500円(お子さん1人につき3時間以内)
▷3時間を超える場合は30分につき400円加算されます。
・市外在住者は1時間750円(お子さん1人につき3時間以内)
▷3時間を超える場合は30分につき600円加算されます。
- 申込** 電話で市プレイルームへ。▷予約(1カ月前から)および当日の利用も受け付けます。団体でのご利用にも対応します。お気軽にご相談ください。
- 問** 市プレイルーム (☎ 24-1434)



市プレイルーム(託児室)

= 献血にご協力ください =

- とき** 2月9日(水) 午前9時30分～11時30分 **場所** 市役所 ▷献血にご協力いただける人には要件があります。
- 問** 保健医療課 ☎ 24-1195 FAX 24-3032

すくすく離乳食教室

子どもの成長時期に応じた離乳食・子育てに関する講話を行います。

- とき** 《初期・中期》3月1日(火) 午後1時30分～3時
- 場所** くわなメディアライヴ
- 料金** 無料 **定員** 20人(先着順)
- 申込期間** 《初期・中期》2月15日(火)～25日(金)



育児相談

保健師に乳幼児の発達や育児などについて相談したり、管理栄養士に栄養に関する相談ができます。

- とき** 3月18日(金) 午前10時～11時(要予約)
- 場所** くわなメディアライヴ
- 定員** 18人(先着順)
- 申込期間** 2月15日(火)～3月11日(金)
▷感染症拡大防止のため、少人数でお越しください。
▷当日の朝に体温を測り、マスク着用の上参加してください。発熱や風邪症状などがある人はご遠慮ください。
- 問** 子ども総合センター ☎ 24-1380 FAX 24-5497

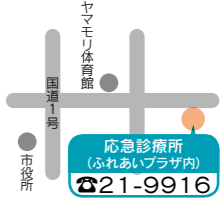
救急医療

夜間・休日に急病になった時は、診療可能な病院を24時間体制で案内します。
※案内を受けた後、医療機関に問い合わせからお出かけください。
パソコンによるご案内(医療ネットみえ)
▶ <http://www.qq.pref.mie.lg.jp/>
携帯電話によるご案内
▶ <http://www.qq.pref.mie.lg.jp/k/>
音声によるご案内(無料)
☎ 0800-100-1199
救急医療情報センター
☎ 059-229-1199

24時間 無料 受付

くわな健康・医療相談ダイヤル24 ☎ 0120-149-107

土曜夜間・休日は応急診療所
電話は診療時間内をお願いします。
〔診療科目〕内科、小児科
日曜・祝日 ☎ 午前9時30分～正午
*1月1日は休診 ☎ 午後1時～4時
土曜夜間 ☎ 午後7時30分～9時30分



※新型コロナウイルス感染対策のため、インフルエンザの迅速検査は行いません。

小児科については、担当医の専門性により対応年齢が異なります。事前に電話で確認してください。

日曜・祝日の午後5時～10時は、当番医療機関へ事前に医療機関へ電話してください。

6日(日)	青木内科	☎ 22-1111
11日(祝)	桑名病院	☎ 22-0460
13日(日)	青木内科	☎ 22-1111
20日(日)	桑名病院	☎ 22-0460
23日(祝)	青木内科	☎ 22-1111
27日(日)	桑名病院	☎ 22-0460